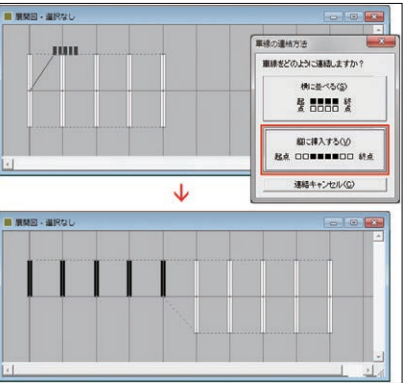
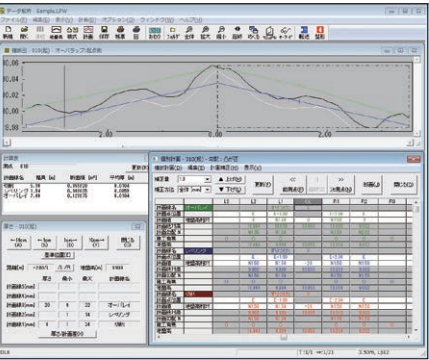


車線連結



展開図上に車線をはめていくように連結して路面ファイルを作成します。（縦方向の連結にも対応）

計画画面



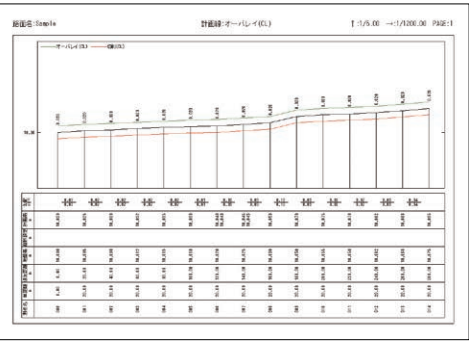
横断・縦断・展開の各Windowを見ながら工事計画の作成が可能。瞬時にボリューム計算を行い、結果に応じて計画を変更することも簡単です。

地盤高の取り込み

測点名	L3	L2	L1	連続基面	R1	R2	R3
000		9.945	9.945	10.000	9.933		
001		9.945	9.945	10.006	9.927		
002		9.941	9.941	10.008	9.926		
003		9.946	9.946	10.012	9.934		
004		9.962	9.962	10.015	9.952	9.928	
005			9.967	10.018	9.952	9.930	
006		9.947	9.949	10.020	9.955		
007		9.955	9.953	10.025	9.960		
008			9.977	10.030	9.963		
009			9.982	10.050	9.980		
010			10.004	10.055	9.982		
011			9.987	10.058	9.995		
012			9.990	10.062	9.992		
013			10.014	10.068	9.990		
014			10.007	10.075	9.989		

任意の1点で地盤高入力すると他点の高さを自動計算します。

複数の計画線が描ける縦断面図



横断面図、展開図、縦断面図の印刷が行えます。また、ボリューム計算表、計画厚一覧表の印刷も行えるほか、帳票はCSV出力、図面はCAD出力（DXF）にも対応しています。

LP横断解析ソフト Ver.2 動作環境

パソコン	Windows 11、Windows 10 (32/64ビット版)
	1GHz以上のプロセッサ
	4GB以上のメモリ
	100MB以上の空き容量があるストレージ
	USBポート（最低1個、推奨2個）（※1）
印刷装置	DVD-ROMドライブ
	1024×768ピクセル以上の画面解像度
	Windowsに対応するプリンタまたはプロッタ

※1 USBハブ経由での利用については、直接電源を供給するタイプ（セルフパワー）のUSBハブを使用してください。パソコンから間接的に電源を供給するタイプ（バスパワー）ですと、LP横断解析ソフトが正常に動作しない場合があります。

※ Windows 11、Windows 10は米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

製品の仕様およびデザインは改良等のため予告なく変更する場合があります。
⚠ ご注意 ご使用の際は取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。



東京計器株式会社

通信制御システムカンパニー センサ機器部

本社 TEL.03-3731-2631 FAX.03-3738-8670 〒144-8551 東京都大田区南蒲田2-16-46

大阪営業所 TEL.06-6150-6605 FAX.06-6150-6610 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-7-26

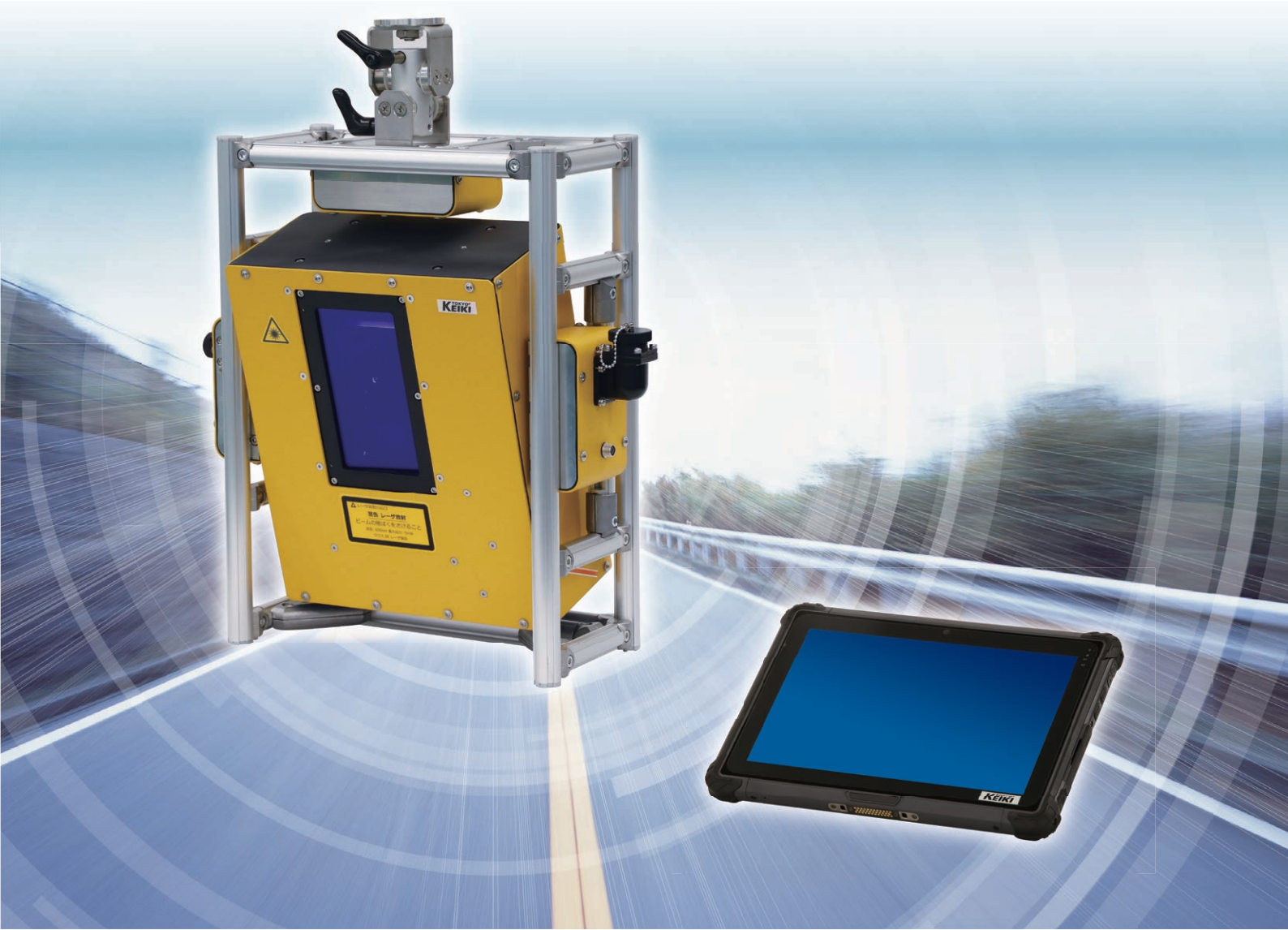
www.tokyokeiki.jp

路面横断形状測定・解析・積算装置

レーザ・プロファイラ

L a s e r - P r o f i l e r

LP-2100



NETIS番号:KT-160041-VE



路面横断形状測定・解析・積算装置LP-2100は、道路舗装修繕前に行う路面計測、工事計画、ボリューム計算、各種帳票、図面を一連の流れで管理ができる路面横断形状測定機です。

計測範囲は最大13m※

- 多くの道路で全幅員を1回で計測可能。

スピーディ・高精細な計測

- 1測点最大13mを最速4秒でスピード計測。
- 傾斜計の搭載により、計測ユニットの水平合わせが不要に。
1点の地盤高から同一測点の地盤高を自動計算可能。
- 10cmの計測ピッチで、詳細に横断面を計測可能。
- 素早い計測のため、通行する車両等の干渉を受けにくい。
- 新機能「ゆっくりスキャン」により新設路面や濡れ路面の計測を強化。

歩道・道路際からの計測が可能※

- 計測機を車線上に設置しなくても計測が行えるため、交通事故の危険性が低下し安全作業に貢献。
- 車線上での計測がなければ、道路規制が不要となり、書類の作成・届出や規制費用が不要に。
- 交通量の多い現場でも夜間作業の必要がなくなります。

実用性の高い解析ソフト

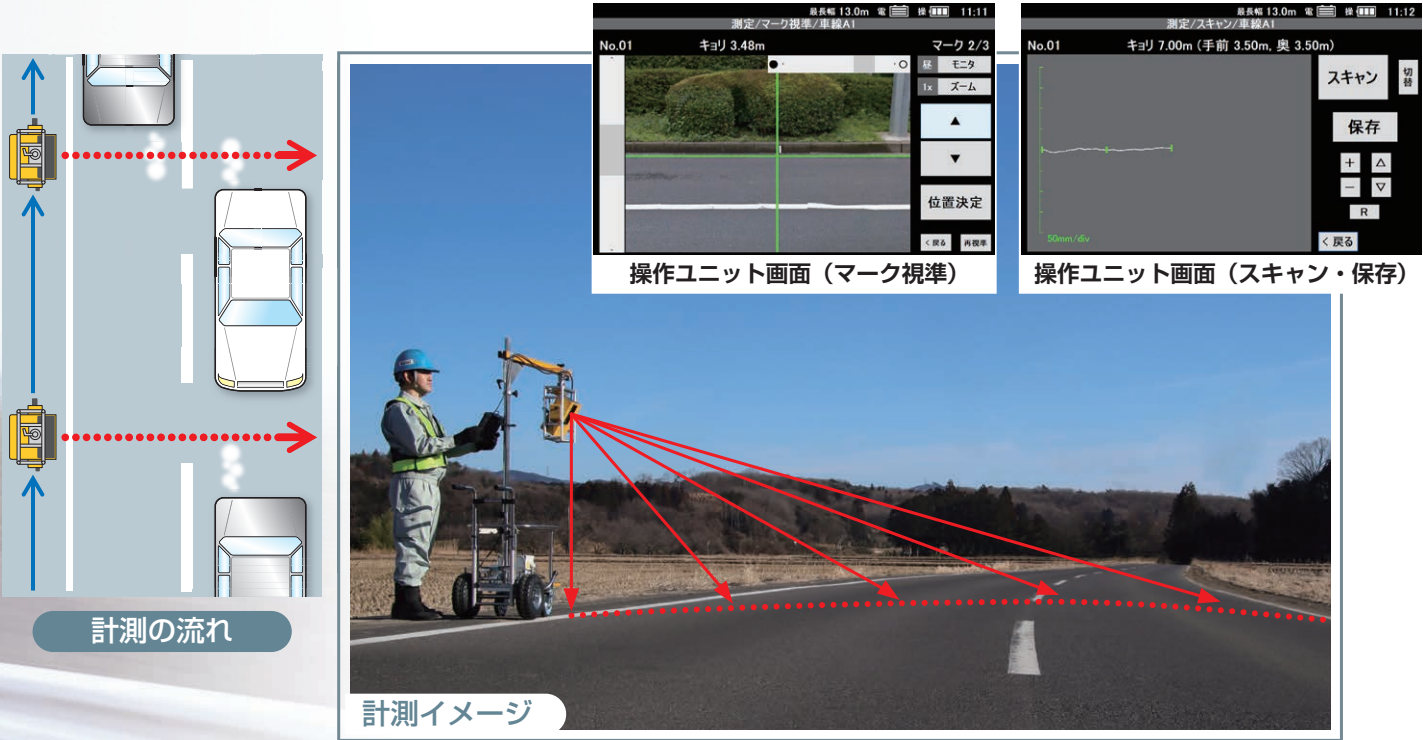
- 従来機LP-2000のソフト（LP横断解析ソフトVer.2）を使用してのデータ解析が可能。
- 解析を行ったデータはCSV出力、CAD出力（DXF）にも対応。

消費電力の削減により長時間の計測が可能に

LP-2100本体仕様			
No.	項目	性能・仕様	備考
1	動作温湿度	0～50℃ 95%RH以下（非結露）	JIS C 60068-2-1, 2
2	保存温湿度	－20～60℃ 95%RH以下（非結露）	JIS C 60068-2-1, 2
3	レーザ	出力：5mW以下（クラス3R） 波長：650nm（赤色）	
4	測定方法	レーザ距離計（非接触）	
5	消費電力	約15W（25℃時）	
6	測定幅員	最大13m	
7	計測高さ精度	±2mm	傾き補正範囲内
8	位置精度	±0.133%	距離比
9	データ間隔	100mm	
10	計測時間	幅員13m、通常スキャンの場合 スキャン：約4秒 転送：約3秒	計：約7秒
11	傾き補正範囲	±5度	水平面に対して
12	記録方式	操作ユニット内部（SSD） （約1500測点分。但し1車線につき最大400測点まで）	USBメモリによりPCへ転送
13	連続使用時間	最大4時間（付属バッテリー、25℃時） ※外部電源により延長可能	計測ユニット（電源ユニット） ※外部電源ケーブル付属
14	充電時間	約8時間	電源ユニット
15	連続使用時間	最大6時間（25℃時）	操作ユニット（タブレット）
16	充電時間	約6時間	操作ユニット（タブレット）
17	外形寸法（mm） （質量）	H535×W353×D185（8.0kg） H237×W234×D132（5.0kg） H190×W270×D19.8（1.22kg） H1836×W475×D850（30kg）	計測ユニット 電源ユニット 操作ユニット 専用台車
18	対応ソフト	LP横断解析ソフトVer 2	

設置・計測方法

道路際よりレーザ光をスキャンさせ、路面より跳ね返ってきた反射光を感知し横断路面形状の計測を行います。台車を使い計測機を道路際に設置できるため、道路規制をかけず計測が行えるようになりました。



※現場条件によります。



LP-2100専用台車

多様な現場に対応

ポール先のアームで計測機の位置を変えられるので、現場のさまざまなシーンにも対応可能です。

